## 目 次

# I 質点と剛体の力学

## 1章 点の運動学

§ 1	運動の表わし方1	§ 6	加速度の接線成分と
§ 2	変 位2		法線成分13
§ 3	ベクトル2	§ 7	極座標による運動
§ 4	ベクトルとベトクルとの積…7		の表わし方15
§ 5	速度と加速度9		1 章 演習問題18
	2章 運動	かの	法 則
§ 1	運動の原因, 質点19	§ 5	運動の第三法則25
§ 2	運動の第一法則20	§ 6	慣性質量と重力質量26
§ 3	質量と力20	§ 7	単位と次元27
§ 4	運動の第二法則と	§8	絶対単位系と重力単位系 …29
	運動方程式22		2章 演習問題29
	. —		
		色な	運動
§ 1			運 動 Atwood の機械35
§ 1 § 2	3章 簡 单		·
-	3 章 簡 当 放物体の運動 ······30		Atwood の機械 ······35
§ 2	3章 簡 単 放物体の運動 ······30 摩擦と束縛運動 ·····31	\$ 4	Atwood の機械 ······35 3章 演習問題 ·····36
§ 2	3章 簡 単     放物体の運動30     摩擦と束縛運動31     斜面の上の運動33	\$ 4	Atwood の機械35 3章 演習問題36 この積分
§ 2 § 3	3章 簡 単     放物体の運動30     摩擦と束縛運動31     斜面の上の運動33     4章 運動プ	§ 4 	Atwood の機械35       3章 演習問題36       犬の積分       エネルギー保存の法則45
§ 2 § 3	3章 簡 単     放物体の運動	§ 4     § 4	Atwood の機械35       3章 演習問題36       犬の積分       エネルギー保存の法則45
§ 2 § 3	3章 簡 単 放物体の運動 ·······30 摩擦と束縛運動 ·····31 斜面の上の運動 ·····33 4章 運動力 運動量保存の法則,力積 ···37 仕事,エネルギーの定理,	§ 4     § 4	Atwood の機械35       3章 演習問題36       Cの積分       エネルギー保存の法則45       角運動量及びその保存の

	5章 振		動
§ 1	単振動48   §	6	連成振動60
§ 2	1	7	電磁場内における荷電
§ 3	単振動の合成52		粒子の運動62
§ 4	減衰振動56		5章 演習問題63
§ 5	強制振動58		
	6章 中心力的	こよ	る運動
§ 1	中心力65   §	4	万有引力による運動(惑星
§ 2	惑星の運動65		と彗星の運動)70
§ 3	万有引力の法則67		6 章 演習問題71
	7章 相 対	芝	<b>軍</b> 動
§ 1	相対運動73		座標系76
§ 2	慣性系,並進座標系に	4	地球の自転による
	おける運動方程式74		Coriolis カ79
§ 3	遠心力,平面上の回転		7章 演習問題80
	系章 質点系	の	運 動
§ 1	内力と外力82   §	5	エネルギーの定理とエネ
§ 2	質量中心83		ルギー保存の法則87
§ 3	運動量の定理,質量中心	6	2つの質点の衝突および
	の運動,運動量保存の		散乱 ······89
	法則84   §	7	Rutherford (ラザフォー
§ 4	角運動量の定理、角運動		ド)散乱93
	量保存の法則86		8章 演習問題95
	9章 剛体の	運	動学
§ 1	剛 体98   §	3	剛体の平面運動99
§ 2	剛体の自由度と特殊な運		9章 演習問題102
	動98		

#### 10章 剛体の釣合いと運動

§ 1	剛体の運動方程式103	§ 6	複振り子113
§ 2	剛体に作用する力系と剛	§ 7	剛体の平面運動114
	体の釣合い104	<b>§</b> 8	剛体の衝撃運動117
§ 3	仮想仕事の原理107	§ 9	1 つの点を固定した剛体
§ 4	固定軸のまわりの剛体の		の回転運動118
	回転運動109		10章 演習問題121
§ 5	慣性モーメント111		

### II 変形する物体の力学

### 1章 固体の弾性

§ 1	均質と等方123	§ 8	弹性定数133
<b>§</b> 2	弾性と塑性123	§ 9	弾性定数の相互の関係 …135
§ 3	応 力124	§ 10	弾性エネルギー137
$\S 4$	ずれ応力127	§ 11	たわみ (撓み)138
§ 5	歪 み128	§ 12	ねじれ (捩れ)142
<b>§</b> 6	ずれ歪み129		1章 演習問題144
§ 7	応力と歪みとの関係130		
	2 音 海 /	+ 1	力 学

#### 2草 流体の刀字

§ 1	静止流体の中の応力145	定理157
<b>§</b> 2	圧力の分布,自由表面146	§ 9 縮む流体の流れ ······159
§3	大気の圧力148	§ 10 粘 性161
<b>§</b> 4	流線と定常流150	§11 流れの中にある物体の
§ 5	連続の式151	受ける抵抗164
§ 6	Bernoulli の定理151	§ 12 揚 力 ······168
§ 7	Bernoulli の定理の応用…154	2章 演習問題170
§8	定常流に対する運動量の	

目

次

	3章 表 面	張力	§ 10 エントロピーの徴視的       § 11 自由エネルギー245       解釈242     3章 演習問題248
	ギー・・・・・・172	§ 3 接触角174 § 4 液体の表面の曲率と圧力…175 § 5 毛管現象177	IV 波
3 2	考之方173	3章 演習問題178	1章 波
	III 熱	学	§ 1 波249   § 6 うなり, 群速度263
	,	•	§ 2 波動方程式·······251 § 7 音······265
	1章 熱平獲	の生態	§3 波のエネルギーと速さ254 §8 発音体の振動267
	1 早 次 十 侯	の状態	§ 4 同じ周波数の波の合成256   § 9 Doppler 効果269
§ 1	温 度180   {	§6 Van der Waals の状態	§ 5 波の反射と透過······259 1章 演習問題·····271
§ 2	状態方程式183	方程式192	2章 波としての光
§ 3	分子運動論の立場187	§ 7 平均自由行程······193	
§ 4	理想気体の圧力188	§8 Maxwell の速度分布則…195	§ 1 光の速さ272   § 7 回折格子の分解能291
§ 5	温度の微視的解釈190	1章 演習問題198	§ 2 光の本性······275   § 8 光学器械の分解能 ······293
		Mr. Nr. mr.	§ 3 光の干渉······278   § 9 偏 光 ······295
	2章 熱力学の	D第一法則	§ 4 薄い膜の干渉·······280
8 1	熱素説とエネルギー保存	ギー・・・・・・・206	§ 5 光の回折·······283 2章 演習問題 ······302
		・	§ 6 回折格子··········287
8 2	熱力学の第一法則200	化, 断熱変化·······208	
§ 3		§ 7 Joule-Thomson 効果······214	3章 幾 何 光 学
		88 輸送現象216	<b>§</b> 1 幾何光学と波動光学305   <b>§</b> 5 光の分散318
§ 4	比 熱205	2章 演習問題220	§ 2 薄いレンズ·······307 § 6 ホログラフィー·····322
§ 5			§3 厚いレンズ·······312 3章 演習問題·······324
			<b>§ 4</b> レンズの球面収差········315
	3章 熱力学の	D第二法則	
§ 1	熱と仕事222   5	6 熱力学的温度234	
<b>§</b> 2	Carnot のサイクル223	§ 7 Clausius の不等式235	Set To the first to the South
§ 3	熱力学の第二法則227	§ 8 エントロピー237	演習問題 解答325
<b>§</b> 4	可逆過程と不可逆過程229	9 エントロピー増大の	和英対訳 索引349
§ 5	Carnot の定理231	原理239	索 引359

<b>6</b> 目	次
------------	---

物理定数表……卷末